



地域小規模児童養護施設

愛知県内5施設にある7つの地域小規模施設を紹介します。

岡崎平和学園

ひだまり



24年度から

本園から異動になりました、
渡辺が紹介します。



私たちひだまりでは小学校2年生から高校3年生までの女の子3人、男の子3人の6人と女性職員2人で生活しています。メンバーは変わっていますが、この家でみんなが暮らし始めて5年となります。高校生のお姉さんは年下の子と折り紙をしたり、ポケットモンスターの事を教えてくれたりよく遊んでくれます。小学生の子どもたちも料理のお手伝いからゴミ捨てやみんなそれぞれの役割をもって、みんなでひだまりの生活を営んでいます。

そして、近所の方たちには野菜の作り方を教えてもらったり、収穫した野菜をいただいたりしています。また、手作りの綿菓子やポン菓子を子どもたちに配っていただいたりもしています。同級生のお父さんにはソフトボールを教えてもらい、自転車を直してもらったりと地域の方々に支えられて、今のひだまりっ子たちがいます。

大切にしていること

「ありがとうでいっぱいひだまりにしよう」

みんなのひだまりだからこそ、力を合わせ、話し合い、アイデアを出し合って少しでも良いところに向かっていきたいと思っています。

そのときのエネルギーは何と言っても「ありがとう」の一言!! 仲間が困っていたら声をかける、相手が自分のことを思ってくれた、そんなところに気づいて自然にみんなからありがとうが出るひだまりにしたいです。



ある日の休日また行事

近くのグラウンドへ、ソフトボールやフットベース、ドッジボールなど周囲に気兼ねなく思いっきりボール遊びを楽しみにいきます。近所のお兄さんやお友達を誘ったり、誘われたりと仲間で遊びに行きます。

また、誕生日には職員と二人で外出に出かけ、普段なかなかとれない、ゆったりとした時間が過ごせるような配慮をしたりもしています。

家自慢

家の前と裏に畑があり、そこでとれた野菜を使って夕食を作ったり、おやつを作ったりしています。

夏休みには毎日子どもたちと一緒に水やりや草取りをしました。その甲斐あってか、いろんな作物の収穫がありました!

サツマイモは近所の子どもたちと一緒にイモほりをしました。サトイモや枝豆は普段からお世話になっている近所の方に少しお届けすることができました。





八楽児童寮 幸の家



幸の家で子どもたちと生活するようになって1年目の新米小山が紹介します。



幸の家は本園から約2km離れた場所にあります。

私たちは小学4年生から高校2年生までの男の子と女の子合わせて5人と、職員1人が住み込んで生活をしています。

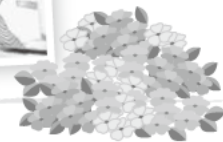
料理の得意な女の子たちは、誕生日会にケーキを作ってくれたりします。元気いっぱいの男の子たちは、地域の少年野球チームやドッチビーチーム、よさこいチームで活躍をしています。

幸の家は温かな地域の方々を支えられているお家です。

大切にしていること

気負わずにホッとできる場所であること

子どもたちにとって、毎日生活している「家」だから、特別なことではなく、幸の家が「ただいま」と帰ってくる場所となってくれればと思っています。



ある日の休日また行事

何気ない日常の中で、高校2年生のお兄ちゃんが、少年野球を頑張っている小学生と一緒に近所へジョギングに出掛けたり、地域のよさこいチームに入っている職員や高校2年生のお兄ちゃんの応援に、家の皆が駆け付けて一緒に祭りを楽しんだりしています。

夏休みには釣った魚を食べようと釣りができるところに出掛けましたが、まったく釣れず、買った魚を食べるなんてこともありました。

家自慢

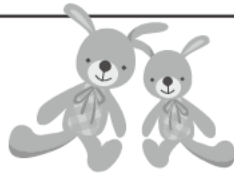
季節や自然を感じてほしいと思っているので、インテリアには観葉植物や季節に応じた手作りのモビールなどを飾って、生活を楽しんでいます。子どもたちは「これ何？」と興味深げに聞いてきます。

先日、中学生の女の子たちが学校の技術家庭科の時間に苔玉を作って持ち帰ってきて、一緒に飾っていました。





八楽児童寮 陽の家



陽の家で子どもたちと
生活をするようになって
3年目の柿川が紹介します。



陽の家は本園から約6km離れた場所にあり、学区も本園とは違います。

私たちは小学校2年生から高校3年生までの男の子と女の子合わせて5人と、職員1人が住み込んで生活をしています。高校3年生のお兄ちゃんは大学に合格し、来年に向けての準備を始めています。毎日めまぐるしい成長をとげている子どもたち。

子どもたちとたくさんいろんなことにチャレンジして経験して一緒に私も成長していけたらと思います。

大切にしていること

あいさつ

陽の家での生活は、地域の方との交流が多くあります。人とすれ違うときや人と出会うことがあれば、いつも元気にあいさつすることを大切にしています。あいさつから人との交流が深まってゆくと考えているからです。



ある日の休日また行事

サンタさんからグローブの贈り物をもらった子どもと、陽の家の庭でキャッチボールをしていると、冬の寒さを吹き飛ばす元気な姿で家の子全員が外に出てきて、キャッチボールに加わったり、縄跳びをして遊びました。

サンタさん素敵な時間をありがとうございます。

家自慢

陽の家では子どもたちの写真や作品をたくさん飾っています。子どもたちと一緒に、飾りつけをしているので、子どもたちは自慢の作品を誇らしげに飾ったりしています。子どもたちが自ら家の雰囲気を作ってくれています。





知多学園 八波寮
瀬木児童ホーム
YOU.I (ゆう愛)



子どもたちと日々楽しく
毎日を過ごす
3年目の東が紹介します。



常滑焼き物散歩道の一角に僕たちが生活する「家」があります。

小学生3年生から高校3年生までの男の子3人、女の子3人と職員3人で笑いあり、涙ありで日々生活しています。

ここで暮らし始めて5年目。少しずつ地域との関わりも増え、地域貢献も兼ねて、焼き物散歩道や登り窯広場の清掃活動に参加し始め、より多くの方に瀬木ゆう愛を知って頂けるように頑張っています。今では子どもたち、職員にも声をかけて頂けるようになり、温かく見守られながら地域に根付いて行けるように子どもたちも職員も少しづつ成長しています。

今年長野県に1泊2日お泊りに。普段とは違う環境で皆楽しそう。他の利用者さんのことも考えながら行動出来ました。

大切にしていること

1対1の時間を大切にすること

1日の中でたくさん時間をとることはできませんが、何気ない会話からその子の1日を知り、感じたこと、思ったり、考えたことなどを共感し「いつも見てくれている」という安心感をもてるように心がけています。

またセカンドステップを通して自分の気持ちを伝えること、相手の気持ちを考えることを子どもと職員一緒になって考え「思いやりのある人」になって欲しいと願っています。



ある日の夕食の手作りピザが上手に出来ました。

ある日の休日また行事

毎週日曜日はお楽しみメニューの日とし、子どもたちとメニューを考え買い出しにも一緒に出かけ、実際に自分たちが口にする食材に触れる機会を作っています。調理は小学生や高校生の児童(自立に向けて)を中心に行っています。

「どうやって使うの?」「どうやって切るの?」などの小学生の質問に優しく年上の児童が教えてあげたり、「こうしたらキレイだよ」と盛り付け方などいろいろアイデアを各々出しあいながら短い時間ではありますが楽しく、温かい雰囲気の中で美味しいご飯を作っています。

家自慢

毎月1回、生け花の先生(ボランティアさん)に訪問して頂き季節の花、常滑焼きの花器を使ってパフォーマンスをして頂いています。家中が四季折々の花の香り、彩りでぐっと明るくなり、気持ちも安らぎます。

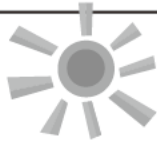
子どもたちの友人が遊びに来る機会が増え、平日、休日問わず元気な声が家中に響いています。

また子どもの誕生日やクリスマス等手作りのパーティーを開きアットホームな雰囲気でお祝いごとを楽しんでいます。





プティヴィラージュ ルミエール



7年目の女性職員です。
笑ったり悩んだりしながら、
子どもとの毎日を
過ごしています。



同じ学区内にある本施設から引っ越して5年目になる「ルミエール」（フランス語で、おひさまの光という意味）です。小学校2年生と中学1年生の男の子ふたりと、小学校4年生から中学校1年生の女の子4人、あわせて6人の子どもたちが生活しています。職員は、男性2人、女性2人の計4人です。

小学校の子どもたちは元気いっぱい！近所のお祭りでとった金魚や近くで捕まえたクワガタを飼ったり、天気の良い日は近くにある公園に遊びに行き、元気に体を動かしています。

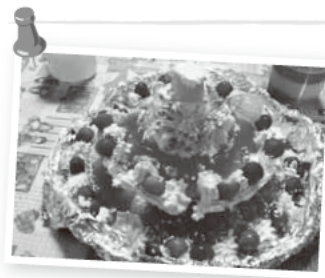
中学生は勉強に部活にとでも忙しいですが、充実した毎日を送っています。

近所の方にもとてもよくしてもらっており、気軽に声がけしていただいたり、果物や野菜をいただいたり、子どもだけでなく職員もお世話になっています。

大切にしていること

地域を大切にす

子どもたちは施設の中で生きているのではなく、地域で育ち、地域で生きていく。施設は子どもたちの実家にはなれないが、地域は子どもたちの地元になる。その意識を忘れず、地域関係を大切にしていかなければならない。職員だけでなく、子どもたちにも地域の人へのあいさつや礼儀の大切さを伝えていかなければならないと思う。



ある日の休日また行事

誕生日は、ルミエールにとって大イベント！

お誕生日の主役の子は、ごちそうメニューとケーキデザインを決めます。そして当日はリビングをその子の好きなキャラクターで飾り、手作りのかんむりを主役にかぶってもらいます。みんなからのお祝いの寄せ書きをプレゼントして、全員でジュースで乾杯!! 誕生日は家のみんなで祝福し、喜びを分かち合うことを大切にしています。

家自慢

旅行、誕生日、クリスマスなど全員がそろう時は、みんなで集合写真を撮ることがお決まりになっています。

これまでに撮った集合写真は額に入れてダイニングの壁に飾っています。もう5年目になるルミエールの変遷や子どもたちの成長がみれるルミエールの密かな宝物です。





知多学園 松籟荘
前山児童ホーム
YOU.I (ゆう愛)



子どもたちの
お母さんの存在です。
美味しいご飯を作り、笑顔で楽し
く子どもたちと過ごしています。



前山ゆう愛は男の子1人、女の子5人、職員2.5人、犬1匹で生活をしています。
地域行事への参加、隣近所の方々と交流があり地域の中で育つを大切にしています。
学校が終わると子どもたちは「私の家、ほくの家において」と誘いたくさんの友達が来てホーム
は子どもたちのにぎやかな声でいっぱいです。
犬の名前はゆあ君。ゆあ君にも友達犬がいっぱいいます。散歩が楽しみです。ゆあ君の大切な仕
事は小学生の安全を守るワンワンパトロール、毎朝元気な子どもたちと学校へ登校しています。
太陽の日差しがキラキラ、庭の芝生で元気に遊ぶ子どもたち、台所からは美味しい匂い、今日も
ゆう愛は笑顔でいっぱいです。

大切にしていること

理念でもある「ホットできる家庭的な場所でありたい」を大切に笑顔であいさつ、楽
しい食卓、地域との交流、家庭的な雰囲気の中でさまざまな体験を通して一人一人が自
分らしく輝き生活が出来るように、子どもと大人が共に育ちあい安心して生活が送れる
場所。「僕の家、私の家、ゆう愛」と思える場所であることを大切にしていきたい。



ある日の休日また行事

野球チームで練習を頑張る。ホームランが打ちたいな。
補助輪を取って自転車の練習を頑張るよ。
買い物に行ってお手伝い、今日の献立は何にする？
こんな休日を送っています。
自分の時間を自分らしく過ごしています。

家自慢

平屋で南向き、太陽に日差しがキラキラ 庭の芝生は青々と暖かい穏やかな
時間が過ぎるゆう愛です。
畑があり、ジャガイモ、イチゴ、トマト、ナス、サツマイモ、たまねぎと季節
に合わせた野菜作りは「自分で収穫した野菜は美味しい」とモリモリ食べる子
どもたち。「これ、食べるか〜」と地域の人たち。地域の温かさやぬくもり、
優しさや思いやりを感じられる環境がゆう愛の自慢です。





名古屋文化キンダーホルト フォワイエ



子どもたちと
生活するようになり
4年の前山が紹介します。



フォワイエは、小学1年生から高校1年生までの男女6人の子どもたちが生活しています。生活の中心は、皆と一緒に過ごせるリビングです。テレビはここにしかありません。Yちゃんは「テレビを観ながらリビングでゴロゴロ」Rくんは「ストーブの前でゴロゴロしながらゲームをするのが大好き」宿題、けんかも大体この場所でおこります。毎日いろいろな事があるけれど、皆が集うリビングが子ども、大人のお気に入り！

大切にしていること

「地域とのつながり」

町内には自治会、子ども会があり、地域活動が盛んな学区です。小学生は子ども会のドッジボール大会をはじめ、学期毎にある楽しい行事に参加をしています。自治会の主催で、運動会や防災訓練もあり、地域の方々に見守られながら暮らしています。

去年は小学校の体育館で防災訓練と炊き出しがあり、地域の方々と一緒に体育館で泊まりました。



ある日の休日また行事

春にモリコロパークへ皆でサイクリングに行きました。

小学1年生のTくんはお姉ちゃんたちに負けないようにペダルをこぎ、息を切らしていました。

小次郎（柴犬）も、自転車の横で一生懸命走っていました。

家自慢

春に仲間入りした柴犬の小次郎は、庭に作ってもらったベンチでの日なたぼっこがお気に入り！

子どもたちは、嫌なことがあると小次郎に悩みをうちあけたり、散歩に行ったりして気分をかえています。「小次郎いつもありがとう」

